

第94回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年10月20日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第94回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○小野寺危機管理監

- ・死者9,444人,行方不明者2,058人,全壊76,078棟である。避難所19施設268人(4市町)である。
- ・被害額は1,688億円増加し,合計7兆3,781億円である。

○今野総務部長

- ・被災者生活再建支援制度関係について,基礎支援金への申請件数が10万5千件を超えた。
- ・復旧・復興寄付金について,88億円を超えた。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・アクセス鉄道が復旧した。

○環境生活部

- ・水道査定は96.2%決定し,今年度中に完了する。
- ・放射線情報マップをホームページに開設した。アクセス数は20日間で4万6千回である。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児は石巻で3人増加し,126人である。
- ・育英募金は12,941件14億円超である。

○千葉農林水産部長

- ・被害額が箇所数の増加などで6億円ほど増加した。
- ・漁港,漁場の廃棄物処理の関係について,10月から分布調査を開始した。

- ・閑上の魚市場で10月21日からせりを開始する。
- ・放射能関係について、牛糞堆肥で放射能基準値超のため、使用自粛している。また、賠償関係については、県の協議会を通じて東京電力に対して約5億9,000万円の賠償請求をしているが、仮払い1億1千万円超が行われた。

○橋本土木部長

- ・被害額について、海岸、港湾、住宅で1,608億円ほど増加した。
- ・災害査定については、公営住宅関係で62.6%終了している。
- ・道路通行止めは3箇所を解除した。61箇所で規制中である。
- ・落橋は12箇所すべて通行可能となった。
- ・仮設住宅は21,899戸完成し、女川町で残り144戸である。

○竹内警察本部長

- ・遺体を9,490体収容した。9月に50体、10月に7体収容した。引渡は9,486体であり、遺族に7,767体、市町村に1,719体である。ダイバーによる搜索等を検討している。
- ・気仙沼、南三陸で仮庁舎が完成した。
- ・10月下旬から11月上旬にダイバーによる行方不明者の集中搜索を行う予定で災害対策本部、海上保安庁と調整中である。
- ・被災地の治安対策に他県部隊600名体制と本県警部隊1,000名の1,600名体制を行う。
- ・他県からは、パトカー65台と136名、警ら部隊による治安対策を行う。

○海上保安庁

- ・前回から10体収容した。合計223体収容した。

○教育委員会

- ・生徒2名、職員2名の死亡が確認された。避難先は女川第1小学校のみである。

○伊藤企業局長

- ・水道水、工業用水の放射能に大きな変化はなしであった。

○村井災害対策本部長

- ・3月11日から7ヶ月が経過し、相当落ち着いてきた。
- ・多くの避難者も一部を除き、仮設住宅へ入居が可能となった。
- ・昨日までの9月議会において、復興計画が議決された。今後は、復興対策へシフトしていく。
- ・定例の災害対策本部は、今回までとし、今後は本部会議に諮る事案があれば、その都度開催する。ただし、災害対策本部については、引き続き継続していく。